

キャラクター名  
 寺島 優子(てらしま ゆうこ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ノイマン		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション			年齢	15~18(PC1に合わせる)	性別	女
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	120 %	
出自	父親不在	経験	大きな事故	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	65
肉体	3	1	2			6	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	2		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
マスエフェクト	白兵	9r-1		8		侵蝕率が込 ショ1回《獣の力》と組み合わせ時対象を「範囲(選択)」にする。
瓦礫(大木/巨岩)	白兵	9r	3	8		侵蝕率が込
コンボ:マッドネスクラッシャー	白兵	17r-8		20		CT7 ショ1回だけドッジD-4個で判定、範囲(選択)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセプト:キュマイラ	3	2	メジャー					
効果: CT値-LV(下限7)								
知性ある獣	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 完全獣化中アイテム装備使用可に								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 【肉体】判定D+[Lv+2]								
獣の力	2	2	メジャー	武器	単体	対決		
効果: 攻+[Lv×2]								
パワーアーム	1		常時	至近	自身	自動		
効果: 両手武器⇒片手化 初期蝕+3								
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 制限解除戦闘移動 ショLv回								
マルチウェポン	2	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果: 武器2つで攻撃 達成値-[5-Lv]								
抜き打ち	2	3	メジャー	武器		対決		
効果: ドッジD-[Lv×2]で攻撃 同時に装備変更 ショ1回								
コンバットシステム:白兵	2	3	メジャー/リアクション			対決		
効果: 判定D+[Lv+1]								
加速する刻	1		インテグ	至近	自身	自動		
効果: 1シナリオにLv回インテグで行動可。ラウト1回								
生命増強	1		常時	至近	自身	自動		
効果: LV×30 HP上昇								
	★							
効果:								
効果:								

PC1と同じ西綾鷹高校に通う少女。  
 仲井 三輝の友人でPC1や三輝とはクラスメート。

元々内気な少女だったが、中学の入学直前に事故で父を失い、自身も大怪我を負い、長期入院してからの入学となったため、消極的な性格も相俟ってなかなかクラスに溶け込めず、その状態がズルズルと続いてしまったためすっかり人と関わるのが苦手な人間になってしまった。

高校に入ってからもそんな自分に自信が持てず、勉強もスポーツも上手く出来ずに悩んでいたところを当時隣の席にいた三輝が相談に乗り、それ以来三輝とは数少ない友人としてよく一緒に過ごしていた。

高校の近くに笑心塾という塾が出来て、その評判を聞いて、その塾で頑張れば自分も変わるのではと勇気を出して足を踏み入れ、そして騙されていると気がかぬままオーヴァードに覚醒する。

以下、シナリオ設定変更の為改変

しかし、その能力はオーヴァード化しても高くは無く、春日達から見限られ、ジャーム化させられそうになるも、偶然その日は遅れて塾に行ったため、ジャーム化した他の生徒達を見てしまい、騙されていたことに気付く。それからはFHエージェント達の追跡を振り切ってジャーム化した友人達を止めようとするも、力を使いすぎて自身もジャーム化寸前に状態に陥る。寸前のところでPC達に倒され、幸うじて完全なジャーム化は免れるも侵蝕が収まるまでは絶対安静としてUGNの隔離施設に眠らされた状態で収容されることとなった。